

# 令和5年度地震・津波防災訓練 (内閣府・青森県おいらせ町)

## 実施報告書 (概要版)

### 青森県おいらせ町について

おいらせ町は青森県の東南部に位置し、南部を十和田湖から奥入瀬川が流れ太平洋に注いでいる。平均気温は10.9℃と比較的冷涼で、冬季は気温が低くなるものの降水量が少ないことが特徴で、青森県内で最も雪が少ない地域である。人口は、約2万5千人で、町内には、自然、農地、商業地、工業地、住宅地がバランス良く配置されている。

東日本大震災時には、最大震度5強の揺れと推定8メートルの津波が町に深刻なダメージを与えた。この経験を踏まえ、町では防潮堤の嵩上げや避難路の整備など、様々なハード事業を進めており、更なる大地震や大津波に備えている。

令和3年5月に公表された青森県津波浸水想定では、海岸線の代表地点における第一波到達時間が以前より16分早い35分と想定されており、町民への更なる津波避難計画の周知と津波から迅速に避難するための訓練の実施が重要となってきた。



## 訓練概要

- 訓練想定：10月29日（日）9:00に青森県東方沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、おいらせ町は震度6強を観測、9:03に青森県太平洋沿岸に大津波警報が発令されるという想定のもと訓練を実施した。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和5年10月11日（水）14:00～15:45  
【地震・津波防災訓練】令和5年10月29日（日）08:00～11:45  
【訓練実施後WS】 令和5年12月6日（水）14:00～16:00
- 主催：おいらせ町、内閣府
- 参加者数：118名
- 参加機関：町職員、消防団、自主防災組織、対象地区住民、おいらせ町赤十字奉仕団、おいらせ町災害ボランティア連絡会等
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設初動訓練、炊き出し訓練等
- 訓練の特色：第一波到達時間35分以内に浸水想定区域外の安全な場所に避難できるかの計測を行う。

## 訓練の成果

### 【成果】

○令和3年に更新された青森県津波浸水想定第一波到達時間35分以内の避難を目標に掲げ、百石中学校区の住民を対象とした津波避難訓練を実施した。地域の実情に合わせて、13カ所の避難目標地点を設置し避難時間を計測した。あらかじめ、地震発生と大津波警報発表の時間を周知していたため、速やかに避難行動に移ることができ、95%が時間内に目標地点に到達することができた。

○訓練を実施することで、避難の実効性にかかる具体的な課題を明確化することができ、今後の町津波避難計画等の見直しの検討課題の抽出に資することが出来た。

### 【課題】

●想定時間内に避難できなかった人には、原因として適切な避難目標地点を選択できなかったことが考えられる。避難所や避難場所にとらわれず、最寄りの浸水想定区域外への避難を優先することについて、様々な機会を通じて周知する必要がある。また、物理的に想定時間内の避難が難しい方へは、緊急避難施設への避難や車両避難、状況別の避難経路などを事前に想定していただく等の対応が必要である。

●積雪期や深夜など様々な想定に基づく避難訓練についても検討実施する必要がある。

●狭い道が多い、年季の入った建物が崩れる可能性等、最短ルートが通れないこともあるということ認識する必要がある。最寄りの避難場所だけでなく、周辺の他の避難場所を目指した場合の所要時間、周辺の環境（冬場の滑りやすさや、広さの確認等）の確認が必要である。

10月11日（水） 14:00～15:45 訓練実施前ワークショップ

- ・地域の防災力向上に向けた取組への講和を行ったあと、「所要時間35分（避難可能時間32分）以内に安全な場所まで避難できるか」をテーマにワークショップを行い、地区ごとに避難場所、避難経路の確認を行った。
- ・日本海溝千島海溝周辺海溝型地震後発地震情報に関する情報提供を行い、地震津波防災について理解を深めた。

▼総括アドバイス  
（岩手県立大学  
杉安副センター長）

▼ワークショップの様子



10月29日（日） 08:00～11:45 地震・津波避難訓練

10月29日（日）9:00に青森県東方沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、おいらせ町は震度6強を観測し、9:03に青森県太平洋沿岸に大津波警報が発令されたという想定のもと、町内対象地域でシェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設初動訓練等を行った。避難訓練終了後、メイン会場のいちょう公園体育館にて訓練の結果報告、意見交換、炊き出し訓練を実施した。

▼一時避難場所等への津波避難訓練



▼訓練報告会

▼炊き出し訓練



12月6日（水） 14:00～16:00 訓練実施後ワークショップ

・地震津波防災訓練の振り返りを行った後、アドバイザーの先生による「避難訓練を終えての改めて取り組むべき地区防災活動」の講和を行い、グループ毎のディスカッション及びグループ代表者による発表を行った。今回の避難訓練を通して各地区の地震・津波襲来時の避難の課題、訓練で検証できたこと、次回以降の課題として検証したいこと、要配慮者対応等について確認を行った。

▼ワークショップの様子

